

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員と地域おこし協力隊員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

番外編

「朝どり市」に出荷してみませんか

食彩館しようばらゆめさくらにある農産物直売所「朝どり市」では出荷者を募集しています。

「朝どり市」では、庄原市内で生産された安全・安心な農産物、加工品などにこだわり、新鮮な地場野菜は消費者の皆さんからも人気です。価格は生産者自ら決めることができ、商品に貼るバーコードには生産者の名前が記載されます。

家庭菜園で「多く野菜を作ってきた」「食べきれずに捨ててしまふ」などの経験はありませんか？少量多品目の新鮮野菜の出荷から始めることができますので、出荷を通じて農業所得の向上を目指しましょう。

定休日 火曜日・年末年始

朝どり市営業時間

8時30分～16時

朝どり市に出荷するには

まずはJA庄原 庄原営農センターにお問い合わせください。

入会金 5千円（1回のみ）

販売代金精算

月2回（半月締め）

精算控除

▼販売手数料 売上げの15パーセント

▼バーコード代 売上げ点数1点につき1円

商品の搬入など

7時～8時に直接搬入し、バーコードの貼り付けを確認のうえ、自ら陳列してください。

売れ残りがある場合は、閉店16時以降に引き取りが必要です。

※メールサービ스에登録すれば、売上げ状況が配信されます。



問い合わせ

農産物直売所運営協議会事務局

(JA庄原 庄原営農センター)

☎0824・72・1144

農業振興課農業振興係

☎0824・73・1132

地域で「生き生き」 獣害対策その一歩先へ!

地域おこし協力隊 草谷 夏枝

●「ええ農」をつなげるために

暖かくなると動物の活動も活発になります。イノシシはこの時期に出産期を迎えます。またその他中型動物が家の周りや天井をにごそごそとはい回ったりしてにぎやかになりますので、私たちも獣害対策をしっかりとしましょう。

先日ある地域に伺いました。3つのため池が連なり田の水源となつていますが、ため池の堤体が動物に荒らされてきました。地域の方は、「水が染み出したら最後、法面が決壊してしまふ。後世に耕作できる環境を残すためには水源を守るための対策も必要」と言います。

何百メートルも柵を張るのは大変ですが、この地域は勉強会にも参加して対策のこつをつかんできたようです。守りたい場所に優先順位をつけて、一番守りたい所からの取り組みを検討しています。「まずはできることからやってみる」。これが獣害対策の極意です。水田や家庭菜園も同様です。

ところで作物のないため池の堤体に、なぜイノシシが来たのでしょうか。実はこの場所にはワラビがたくさんありました。ワラビの

土に埋まっている部分はでんぷん質です。他にもキクイモ、カラムシ、クズなどもイノシシの餌になります。鳥獣豆知識でした。



水源のため池。ワラビなどの餌を求めてイノシシが堤体を掘っていた。

●獣害対策しておいしいランチ

昨年共同畑を始めた本村サロピラミッドでは引き続き野菜作りが行われています。サトイモと小豆は「とんど」で地域の方に振る舞うぜんざいに、そして野菜はサロンのランチで使うことを楽しみにしているそうです。

最初の定例会では電気柵が雪で緩んでいるところを補修して、追加で溝を切った場所が動物の通り道にならないように確認しました。しっかりと守って本年もたくさん収穫できるといいですね。

あなたの地域の「生き生き」 獣害対策活動の話聞かせください。

問い合わせ

商工林業課林業振興係

☎0824・73・1124